

## 第20回 小千谷産学交流研究会

日時： 2026年8月6日（木）13:00～16:30

参加費： 無料

会場： テレワークステーションおぢや 2階 多目的ルーム（小千谷市本町1-11-1）

形態： ハイブリッド開催〔会場（**先着20名申込順**） + オンライン（Zoom）〕

### 演題・講師

#### 基調講演「自律的な地方創生を目指す北陸」

株式会社RICH 代表取締役 井熊均 氏

北陸地域は2021年に経済産業省のJ-NEXUS 産学融合拠点創出プログラムに採択され、産学官金連携活動である北陸RDXを立ち上げ、5年間にわたり地域企業の新事業や大学の技術の社会実装を支援してきました。2025年度をもって経済産業省事業は終了しましたが、事業終了に先立つ2023年には地域企業や大学の研究者をハンズオン支援するための株式会社RICHを立ち上げ、産学官連携の北陸RDXについても自立的に継続することとしました。本講演では、こうした北陸の活動の経緯や目指すべき方向性などについて論じます。

#### 講演1「目的ではなく経営改善の手段としてのAIの活用 ～会計情報を経営に活かす～」

新潟大学 人文社会科学系（経済科学部） 准教授 有元知史 氏

AI時代の到来と言われる中、AIは経営を大きく変えるのでしょうか。高度かつ専門的にAIを活用し、経営の変革を目指すことも可能でしょう。同時に、AIは自社の既存のストロングポイントへ経営資源をフォーカスするための改善のツールとして容易かつ安価に利用可能です。会計の分析をAIに任せることからどのような情報が得られるのかを概観しながら、経営にAIからの情報を活用することの意味と可能性について考えます。

#### 講演2「触る感覚を高めるハプティクス技術：指先における触覚・力覚の知覚向上と運動学習支援への応用」

長岡技術科学大学 技学研究院 機械系 教授 遠藤孝浩 氏

人が指先で物体に触れた際に得られる感覚、すなわち触覚や力覚の知覚を向上させるハプティクス技術に関する研究を紹介します。指や腕にごく小さな刺激を加えることで、硬さや力加減などの触感を認識しやすくする手法や装置について説明します。さらに、これらの技術の運動学習支援への応用可能性についても紹介します。触る感覚の向上は、医療・福祉、ものづくりなど、幅広い分野への応用が期待されます。

#### 講演3「雪国の命を守るバーチャル体験：VRで学ぶ冬の安全」

新潟工科大学 工学部 電子情報学系 教授 山岸芳夫 氏

地域の重要課題である「雪」のトラブルに対し、VR（仮想現実）をはじめとする先端デジタル技術をどう活用できるか、2つの実践例からご紹介します。前半は冬期の交通事故を減らすための「雪道運転シミュレーター」、後半はインバウンド対応や観光の安全性を高める「雪崩対策の行動学習教材」について報告します。

### タイムテーブル

12:30	開場	14:40～15:15	講演2
13:00～13:05	開会あいさつ	15:20～15:55	講演3
13:10～13:50	基調講演	15:55～16:00	閉会あいさつ
13:55～14:30	講演1	16:00～16:30	名刺交換・情報交換

### 申込方法

8月5日（水）正午までに、下記よりお申込みください。

申込フォーム： <https://tinyurl.com/ojivasangaku2026>

または 二次元コードからアクセス

※会場は先着20名申込順です。会場での聴講希望の方はお早めにお申し込みください。

